

令和6(2024)年度 認知症カフェ

にっこりカフェ

◆認知症カフェとは？

認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門職など、誰もが気軽に集い、認知症について知る、学ぶ、考えることができる場所です。(くわしくは裏面へ)

◆対象者は？

- 若年性認知症を含む認知症の方
- 認知症の人のご家族
- 認知症ケアに関わる専門職
- 認知症について知りたい方
- 地域のお住まいの方(子ども～大人まで)

◆にっこりカフェの特徴は？

認知症医療に携わる専門職が代わる代わる参加します。認知症の専門医、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士、理学療法士、看護師、管理栄養師、薬剤師…など。座談会で気軽にお話しませんか。

◆内容は？

- 座談会(他の方のお話を聞いているだけでもOKです)
- ときどきイベント開催します。(ミニ講座、軽体操、ミニコンサートなど、楽しい時間を過ごしましょう)
- 天気がいい日は、中庭でお散歩ができます。



↑中庭です

【問い合わせ】高田西城病院 認知症疾患医療センター

☎ 090-7801-7533 (専用) 025-523-2139 (病院代表)

✉ center@nishishiro-hp.or.jp

◆開催日は？

毎月第1土曜 10:00 ~ 11:30 開催

ときどき
イベント
開催

6/1、7/6、8/3、9/7、10/5、
11/2、12/7、1/4、2/1、3/1

◆場所・参加費・申し込みは？

- 場所：地域密着型通所介護「かがやきハウス」
(高田西城病院内、上越市西城町 2-8-30)
- 参加費：無料 (お飲み物をご持参ください。
病院内の売店、自動販売機の利用ができます。)
- 申し込み不要、出入り自由です。



オランダで始まった「アルツハイマーカフェ」を源流として、

認知症カフェは世界各国に様々な形で広がりました。日本では、2012年策定のオレンジプランで初めて明記され、続く新オレンジプランでは、全市町村設置を目指すことが示されました。

認知症と診断がなされても、何も支援が無い期間のことを「空白の期間」と表現されています。認知症は目に見えない病気なので周囲は病気だと気が付かず、知らず知らずに本人が孤立してしまうことがあります。社会にはまだまだ認知症に対するマイナスイメージがあるため、本人が声をあげにくい現状があったり、本人と同じようにその家族が悩んでいても、周囲には言えないと感じて抱え込んでしまうことがあります。

認知症カフェは、こうした空白の期間を満たす役割があります。認知症の人、その家族や友人、地域住民 (子ども~大人まで)、そして専門職が、年齢や所属・地域に関係なく「認知症」というキーワードのもとに、身近で入りやすい場所に集い、対話によって人と人との繋がりが醸成されること、相互に認知症に関する情報を共有しあえることを目指しています。そして「認知症になっても安心して暮らせる地域」をカフェの中で作りだし、それが地域全体に波紋のように広がることが期待されています。